



MSD47-58001 フードガーニッシュ

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ フードガーニッシュをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行なって下さい。

■ 品番・適合車種

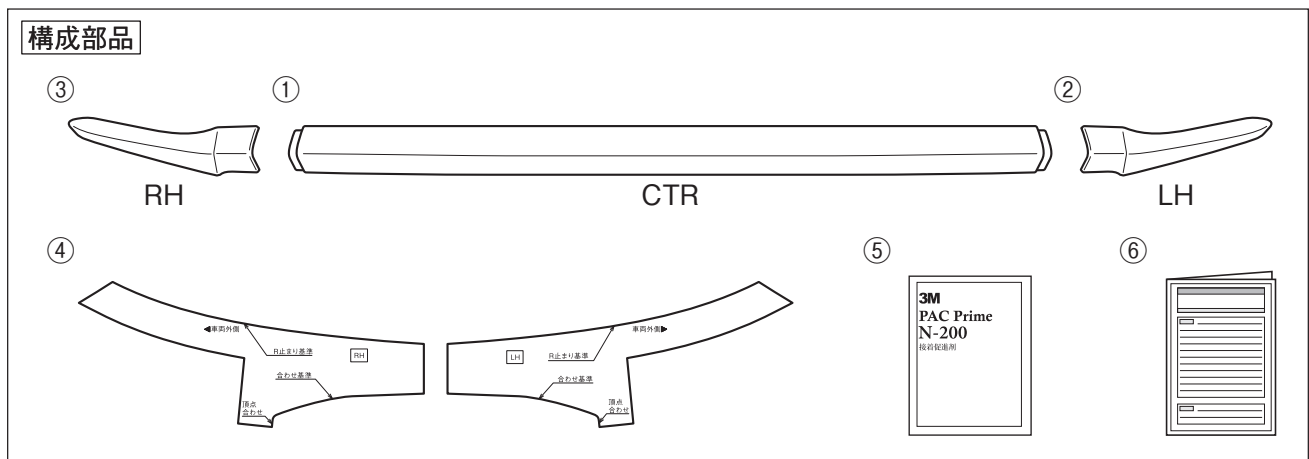
品番	適合車種	備考
MSD47-58001	アルファード '23年5月～ ヴェルファイア '23年5月～	全グレード対応

・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。<https://www.modellista.co.jp/>

■構成部品

No.	部品名	数量	品番	備考
①	フードガーニッシュ CTR	1	75770-AH420	
②	フードガーニッシュ LH	1	75770-AH410	
③	フードガーニッシュ RH	1	75770-AH400	
④	型紙シール LH/RH	1	CDFG-23051	
⑤	PAC プライマー	1	08867-00220	N-200
⑥	取付・取扱要領書	1		本書

■構成部品図



取り付け上のご注意(取り付け作業の方へ)

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと

警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ⊘ エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、傷付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取り付け作業時の傷付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 本商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。

脱脂作業について

- ⊘ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⊘ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれるのでドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行ってください。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
- ❗ 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。(PACプライマー N-200を本品に添付)
- ❗ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 本商品が、車両に確実に装着されているか点検してください。
- ❗ 取り付け完了後、本商品及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- ❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1~2
2. 取り付け上のご注意（取り付け業者の方へ） 3~4
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 5
4. 取付準備、取付要領 6~12
5. 取付完了後の点検・注意事項 12

■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 軍手・マスキングテープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス・タッチアップ塗料（防錆用途）

■保証について

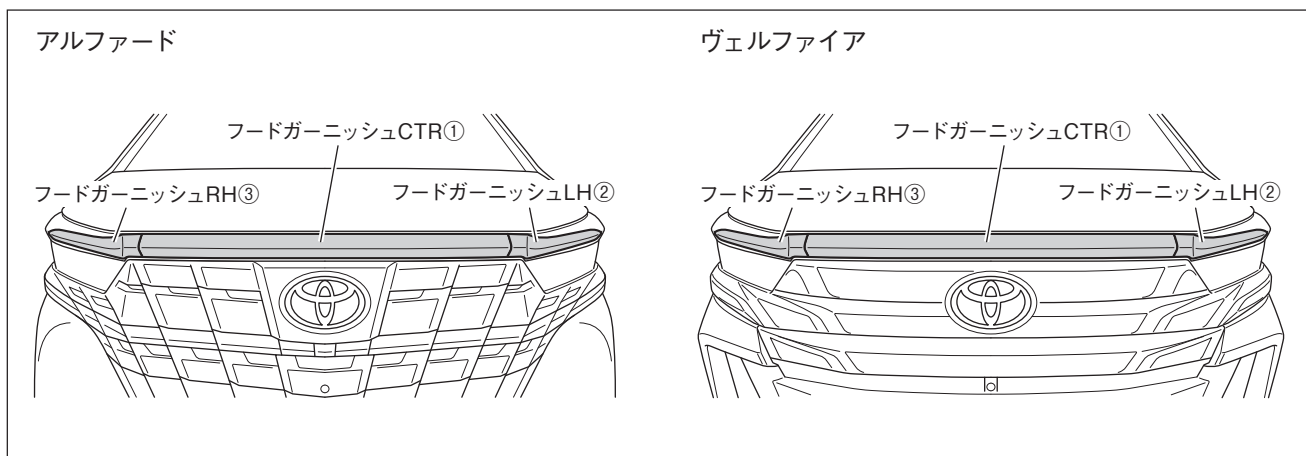
本商品は、1年・20,000 Km の保証を実施いたします。

（1年または20,000 Km 走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト 〈<https://www.modellista.co.jp/>〉

「保証について」をご覧ください。

■取付構成図

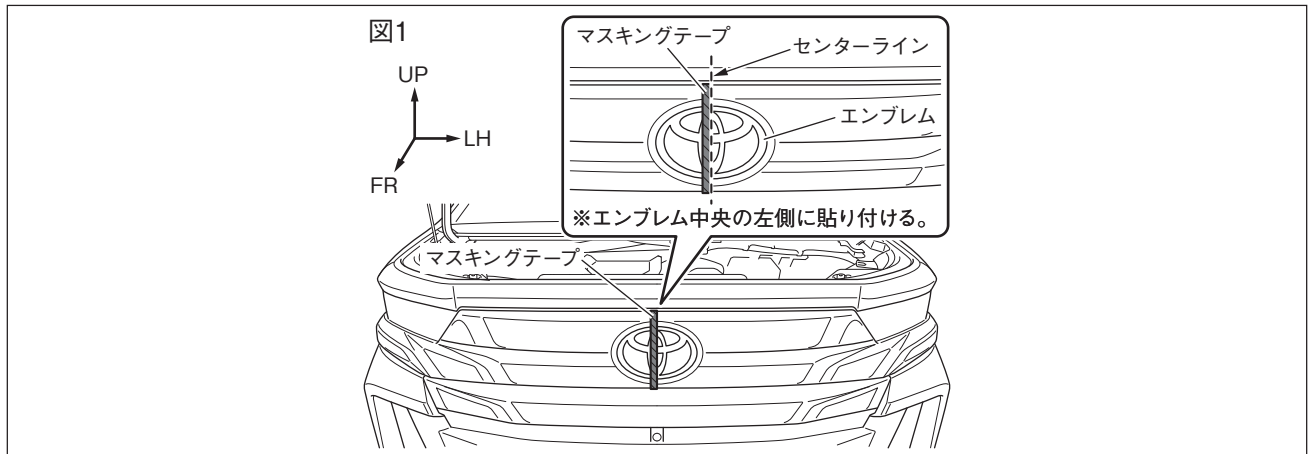


■取付準備、取付要領

□フロントグリルのセンターラインマーキング

1. 図1のようにフロントグリルのエンブレム中央にマスキングテープを沿わせ、センターラインを出す。

👉アドバイス：エンブレム中央の左側に沿って、マスキングテープを貼り付けてください。

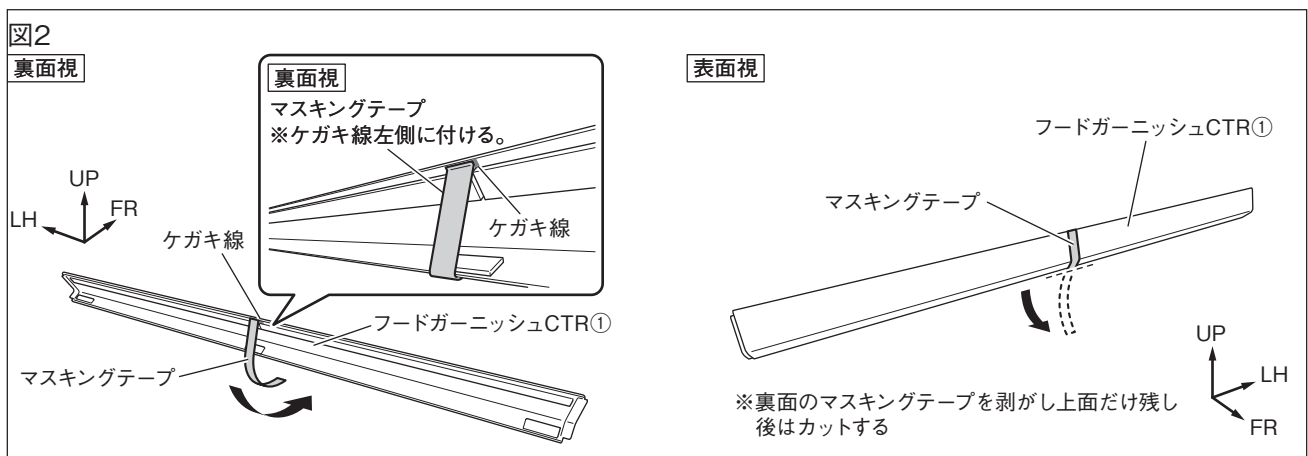


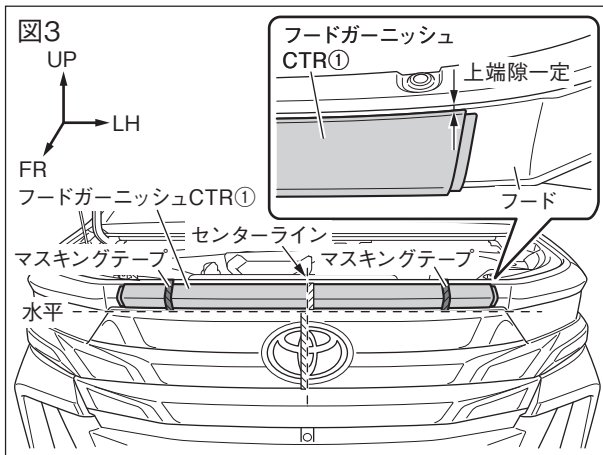
□フードガーニッシュ CTR のセンターラインマーキング

1. 図2のようにフードガーニッシュ CTR ①裏面の中央部にあるケガキ線に合わせてマスキングテープを1周貼り付け、表面にセンターラインを出す。

👉アドバイス：ケガキ線の左側に沿って、マスキングテープを貼り付けてください

2. 図2のようにマスキングテープの表面のみ残し、裏面のマスキングテープは切り取る。

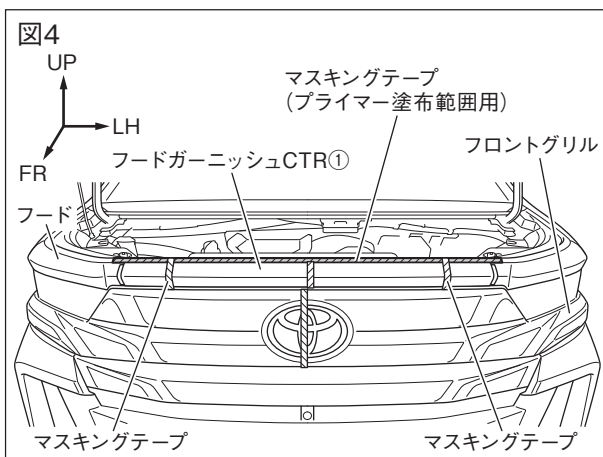




□センターライン合わせ

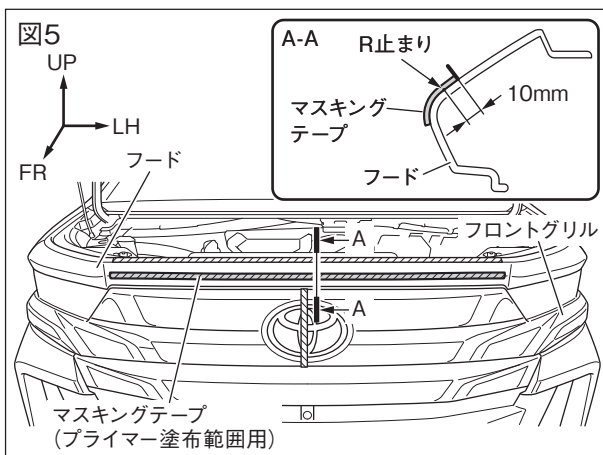
1. 図3のようにエンブレムとフードガーニッシュ CTR ①のセンターラインの位置を合わせてフードガーニッシュ CTR ①の両端の長さを均一し、フードガーニッシュ CTR ①下端が水平になるように調整してマスキングテープで仮固定する。(2箇所)

△ 注意 : フード上端とフードガーニッシュ CTR ①の隙が一定になっていない場合は調整してください。

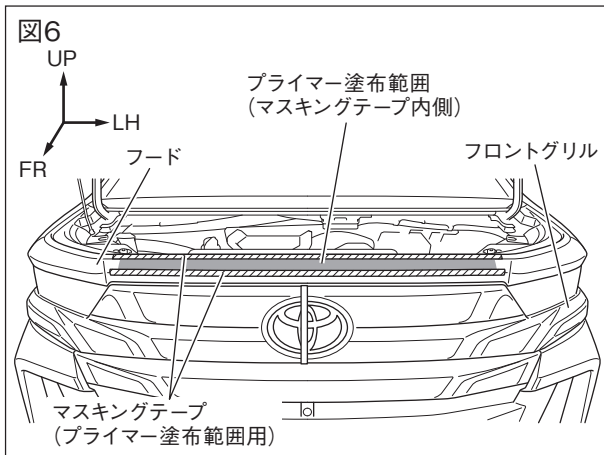


□フードガーニッシュ CTR のマスキング

1. 図4のようにフードガーニッシュ CTR ①の上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。
2. フードガーニッシュ CTR ①を一旦取り外す。



3. 図5のようにフード R 止まり基準から10mm の位置に沿わせてマスキングテープを貼り付ける。

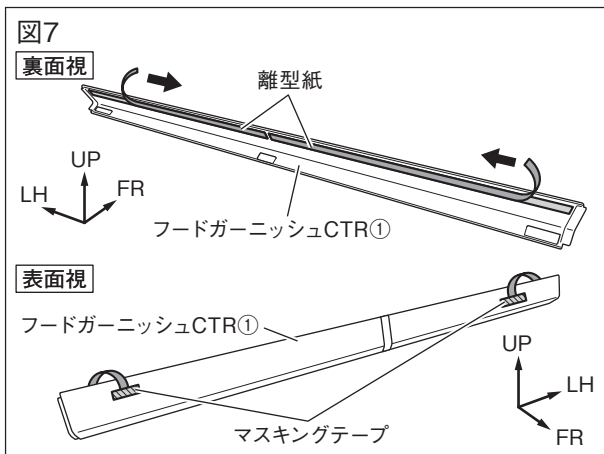


□プライマー塗布

- 図6のようにプライマー塗布範囲（左図斜線部）の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、PAC プライマー⑤を塗布する。

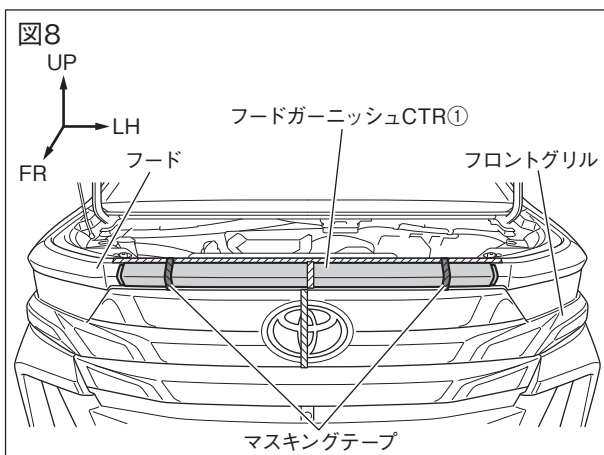
△ 注意：プライマーは特に塗布面を黄変させるため、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）等で拭き取ってください。

👉 アドバイス：・脱脂後は、十分に乾燥させてください。
・プライマー塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
・プライマーはフードガーニッシュ LH/RH ②③ 取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し、揮発を抑えてください。



□フードガーニッシュ CTR の離型紙めくり

- 図7のようにフードガーニッシュ CTR ①の両面テープ離型紙を矢印の方向に一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで固定する。（2箇所）

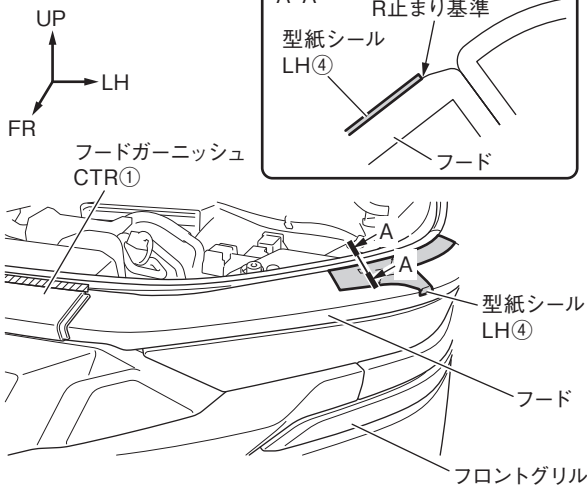


□フードガーニッシュ CTR の仮固定

- 図8のようにフード R 止まり基準から10mm に沿ったマスキングテープを剥がす。
- 図8のようにフードガーニッシュ CTR ①の取付位置を確認し、マスキングテープの位置に合わせてフードガーニッシュ CTR ①を車両にかぶせ、マスキングテープで仮固定する。（2箇所）

図9 LH図示

※RHも同様に

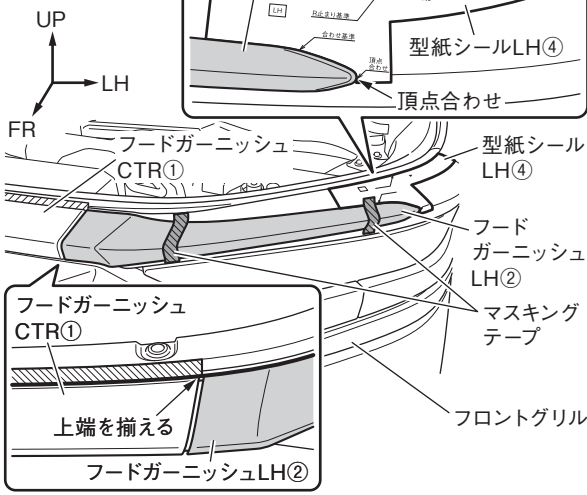


□型紙シール LH/RH の貼り付け

1. 図9のように型紙シール LH/RH ④をフードのR止まり基準に合わせて貼り付ける。(左右各1箇所)

図10 LH図示

※RHも同様に



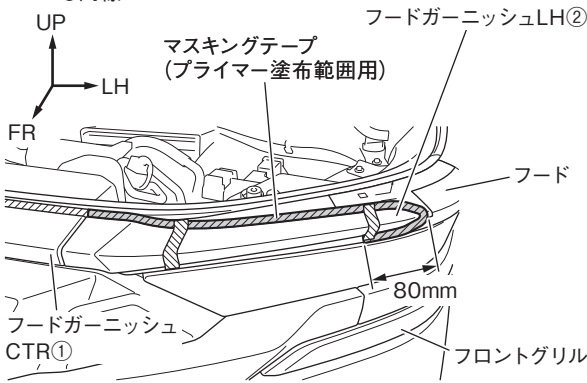
□フードガーニッシュ LH/RH のマスキング

1. 図10のようにフードガーニッシュ LH/RH ②③をフードガーニッシュ CTR ①左右端末とフードガーニッシュ LH/RH ②③の先端を型紙シール LH/RH ④の頂点合わせに合わせて、マスキングテープで仮固定する。(左右各2箇所)

△ 注意 : ・フードガーニッシュ LH/RH ②③とフードガーニッシュ CTR ①の上端が揃っているか確認してください。
 ・フードガーニッシュ LH/RH ②③が下がりがりやすいため、先端が正しい位置になる様に注意してください。

図11 LH図示

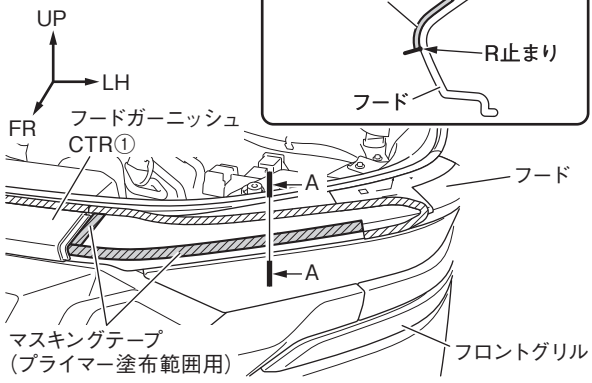
※RHも同様に



2. 図11のようにフードガーニッシュ LH/RH ②③の上端に沿わせてマスキングテープを貼り付ける。(左右各1箇所)
3. 図11のようにフードガーニッシュ LH/RH ②③の先端から80mmの位置まで下端に沿ってマスキングテープを貼り付ける。(左右各1箇所)
4. フードガーニッシュ LH/RH ②③を一旦取り外す。

図12 LH図示

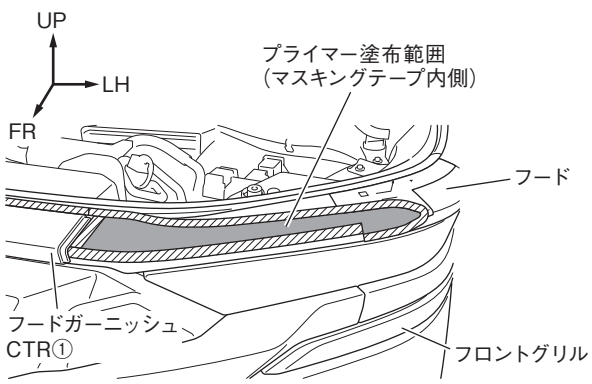
※RHも同様に



5. 図12のようにフードの R 止まりに沿ってマスキングテープを貼り付ける。

図13 LH図示

※RHも同様に



□プライマー塗布

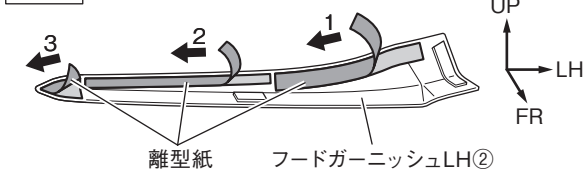
1. 図13のようにプライマー塗布範囲の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂し、PAC プライマー⑤を塗布する。

△注意：プライマーは特に塗布面を黄変させるため、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール (IPA) 等で拭き取ってください。

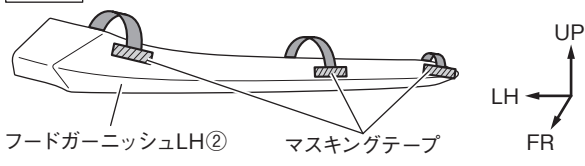
👉アドバイス：・脱脂後は、十分に乾燥させてください。
・プライマー塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。

図14 ※フードガーニッシュRH③も同様に

裏面視



表面視

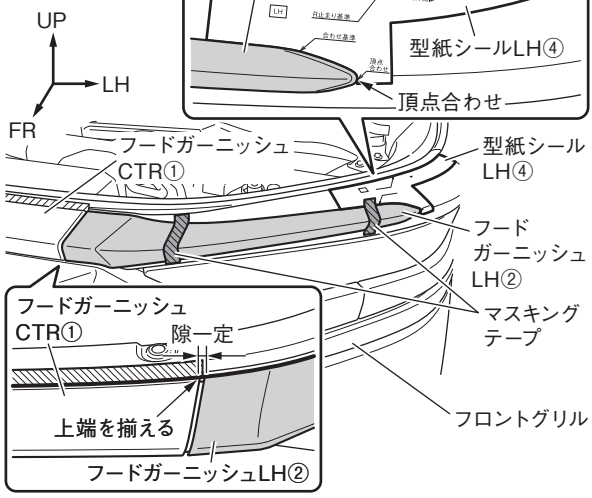


□フードガーニッシュ LH/RH の離型紙めくり

1. 図14のようにフードガーニッシュ LH/RH ②③の両面テープ離型紙を矢印の方向に一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで固定する。(左右各3箇所)

図15 LH図示

※RHも同様に



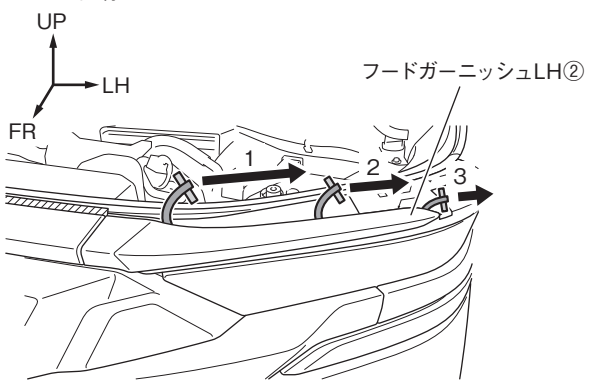
□フードガーニッシュ LH/RH の仮固定

1. 図15のようにフード R 止まり基準に沿ったマスキングテープを剥がす。(左右各1箇所)
2. 図15のようにフードガーニッシュ LH/RH ②③の上端に沿ったマスキングテープを剥がす。(左右各1箇所)
3. 図15のようにフードガーニッシュ LH/RH ②③の取り付け位置を確認し、フードガーニッシュ LH/RH ②③を車両にかぶせ、マスキングテープで仮固定する。(左右各2箇所)

- △ 注意：
- ・フードガーニッシュ LH/RH ②③とフードガーニッシュ CTR ①の上端が揃っているか確認してください。
 - ・フードガーニッシュの合わせ部の隙が一定で左右均等になっていることを確認してください。
 - ・フードガーニッシュ LH/RH ②③が下がりやすいため、先端が正しい位置になる様に注意してください。

図16 LH図示

※RHも同様に

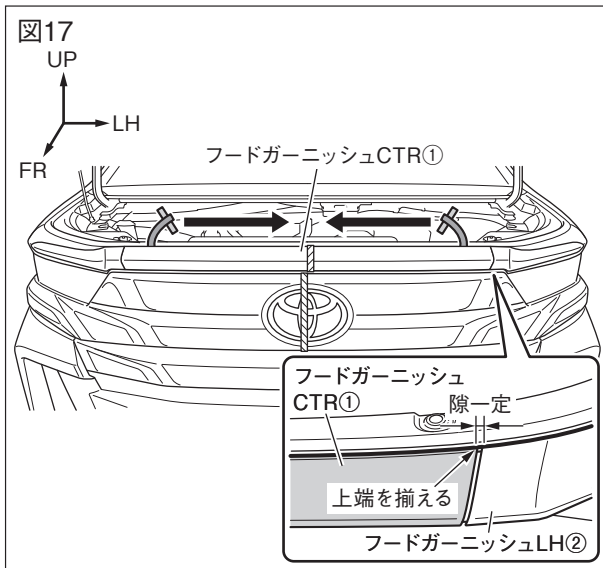


□フードガーニッシュ LH/RH の固定

1. 図16のようにフードガーニッシュ LH/RH ②③を車両へ押し当て、図の指定順番で離型紙を矢印方向に引き抜きながら49N(5kgf)程度の力で圧着する。(左右各3箇所)

- △ 注意：
- ・必ず指定順番で離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・剥がれの原因となる可能性があります。
 - ・離型紙が途中で切れないようにフードガーニッシュ LH/RH ②③を少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。

2. 型紙シール LH/RH ④を剥がす。(左右各1箇所)
3. フードガーニッシュ LH/RH ②③の浮き・剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。



□フードガーニッシュ CTR の固定

1. フードガーニッシュ CTR ①上端に沿ったマスキングテープを剥がす。
2. 図17のようにフードガーニッシュ CTR ①を車両へ押し当て、離型紙を矢印方向に引き抜きながら49N(5kgf)程度の力で圧着する。(2箇所)

△ 注意 : ・フードガーニッシュ LH/RH ②③とフードガーニッシュ CTR ①の上端が揃っているか確認してください。
 ・フードガーニッシュの合わせ部の隙が一定で左右均等になっていることを確認してください。
 ・離型紙が途中で切れないようにフードガーニッシュ CTR ①を少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。

3. フードガーニッシュ CTR ①の浮き・剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

□復元

1. 車両に貼り付けたマスキングテープを全て剥がす。
2. 取り付けがしっかりと行われているかを確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

👉 アドバイス : ・両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。
 ・商品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠ 警告 : ・両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落等の重大な不具合が発生する可能性があります。
 ・両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及びフードガーニッシュ周りに傷が付いていないことを確認してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

モデリスタ 商品問い合わせ窓口

TEL : 050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

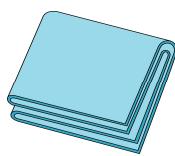


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールの痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

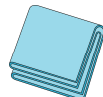
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



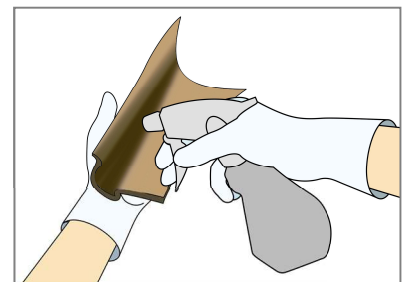
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

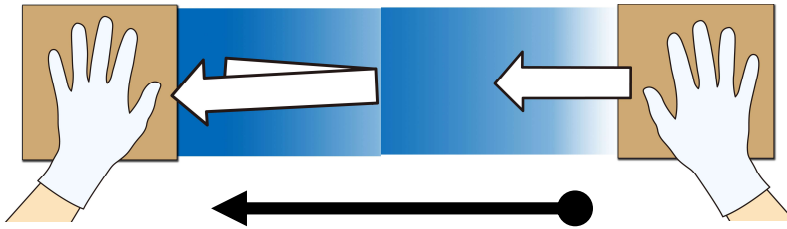
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

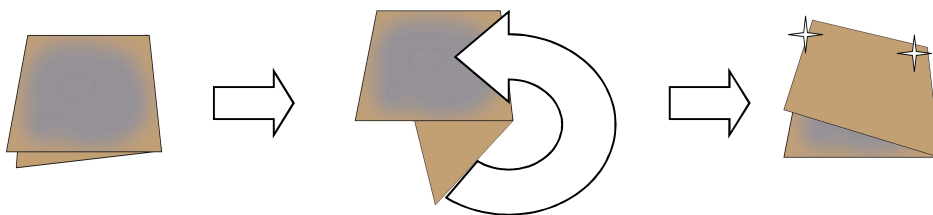
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。